

第5期経営改善計画

〔平成26年度～平成30年度〕

平成28年度 実績状況報告書

〔平成28年4月1日から
平成29年3月31日まで〕



公益財団法人 神奈川県下水道公社

目 次

I	経営改善計画取組み項目	2
II	平成 28 年度の取組み実施内容	4
III	計画の進行管理（PDCA サイクルによる見直し）	9

第5期経営改善計画 平成28年度実績状況報告

当公社では、平成26年度から5年間で実施する「第5期経営改善計画（平成26から30年度）」を策定し、さらなる運営の健全化、効率化に向け経営改善計画を推進しています。

平成28年度は第5期経営改善計画の3年目であり、公社の経営方針に基づき、流域下水道の維持管理に関する業務、また、下水道知識の普及・啓発活動及び下水道技術に関する調査研究などを行い、県及び市町の下水道事業に協力し計画に掲げた項目の改善に取り組みました。

平成28年度の実績は、以下のとおりです。

I 経営改善計画取組み項目

第5期経営改善計画は、平成26年度から平成30年度までを計画期間とし、5分類、49項目の取組み内容でスタートしました。

平成28年度は、次表のと通りの50項目について取組みました。

分 類	改善項目
1 効率的で安定した事業の運営	
(1) 効率的な維持管理による処理費の抑制	① 包括的民間委託の導入 ② 運転管理に関する点検回数の見直し ③ 広場管理人員の削減 ④ 草花管理業務の見直し ⑤ 脱臭用活性炭の一括発注 ⑥ 水処理等監視制御設備点検委託(相模川流域)の一括発注 ⑦ 一括発注の推進 ⑧ 水質分析の一部集約 ⑨ オーバーホールの周期の延伸 ⑩ 汚水ポンプの効率的な運用 ⑪ 最初沈殿池における効率的な運用 ⑫ 老朽化設備の休止による維持管理費用の削減 (⑬ 産業医設置の見直し〔平成28年度削除〕) ⑭ 公用車の軽自動車導入 ⑮ 振込方法の改善 ⑯ 入札制度改革の推進 ⑰ 焼却炉の点検に関する積算基準の見直し〔平成28年度追加〕 ⑱ 加除式書籍の追録廃止〔平成28年度追加〕
(2) 施設の老朽化対策	⑲ 設備診断や施設評価 ⑳ 現有施設(機器等)の電子台帳の充実
(3) 安全・安心な下水道	㉑ 事業継続計画(BCP)の策定 ㉒ 水防、水質事故等の配備体制の充実 ㉓ 水防、水質事故等のマニュアルの検証 ㉔ 防災備蓄資器材の見直し ㉕ 実践に即した訓練実施 ㉖ 訓練を通し「使えるマニュアル」に見直し

分 類	改善項目
2 利用者サービスの向上と経営基盤の強化	
(1) 技術支援体制の充実 (アシスト下水道)	㉕ 関連市町への技術支援 ㉖ 県、市町職員との定期的な技術交流 ㉗ 市町下水道担当職員への研修会を開催 ㉘ 事業場の排水担当者への研修会の開催
(2) 効率的な組織体制・人材育成・調査研究の充実	㉙ 組織運営体制の見直し ㉚ 下水道維持管理に精通した人材育成 ㉛ 公社職員の幹部への登用 ㉜ 事務職と技術職の交流 ㉝ 電子決裁の導入 ㉞ 下水道技術開発のための民間企業との共同研究の取組み及び学術機関との連携 ㉟ 維持管理上の課題や問題の解決 ㊱ 長期的視点に立った研究
3 水環境の向上と地球温暖化対策	
(1) 良好な水質の確保と水環境の向上	㉿ 運転の創意工夫、新技術の導入等の検討
(2) 地球温暖化対策と環境対策	⑳ 臭気対策への取組み ㉑ 焼却灰のリサイクル ㉒ 廃棄文書等のリサイクル ㉓ 廃熱の利用等
(3) 省エネルギー対策への取組み	㉔ 最新の技術や実績を調査し、導入に向け県へ技術提案
4 地域・県民との連携による普及啓発	
	㉕ 下水道ふれあいまつりの拡充 ㉖ 夏休み下水道教室の拡充 ㉗ 出張教室の拡充 ㉘ 市町開催環境イベントへの積極的参加 ㉙ インターネットを活用した広報活動
5 快適に安心して働ける職場環境	
	㉚ メンタルヘルスケア ㉛ リフレッシュ休暇導入の検討

II 平成 28 年度の取組み実施内容

平成 28 年度に取組んだ分類ごとの主な実施内容は、次のとおりです。

〔取組み実施内容〕

1 効率的で安定した事業の運営	
(1) 効率的な維持管理による処理費の抑制	創意工夫により効率的に運転管理を行い処理費を抑制するため、一部の処理場への包括的民間委託の導入、施設運用の効率化、委託業務内容や設計基準の見直し、また、業務の一括発注などを継続して取組みました。
(2) 施設の老朽化対策	設備診断計画に基づく健全度診断を実施しました。
(3) 安全・安心な下水道	「神奈川県下水道公社業務継続計画（BCP）」に基づく訓練を実施して、BCP の有効性を確認しました。

2 利用者サービスの向上と経営基盤の強化	
(1) 技術支援体制の充実（アシスト下水道）	市町が行う流域関連公共下水道の特定事業場等監視・指導や施設検査などの技術支援を継続して行いました。 また、県内市町下水道担当職員と事業場排水担当者の技術力向上を目的とした研修会を開催しました。
(2) 効率的な組織体制・人材育成・調査研究の充実	熟練職員と若手職員が連携して取組む体制を構築し、OJTを通じた人材の育成に努めました。 また、維持管理上の課題の解決や経費縮減の視点に立った調査研究に取組みました。

3 水環境の向上と地球温暖化対策	
(1) 良好な水質の確保と水環境の向上	効率的な硝化促進運転を行い良好な放流水質の確保と、水環境の向上に貢献しました。
(2) 地球温暖化対策と環境対策	環境に配慮した次世代型焼却炉を運用し、電力や温室効果ガスの削減などに取組みました。 また、廃棄文書のリサイクルに取組み、環境への配慮に努めました。
(3) 省エネルギー対策への取組み	電力削減を目的として、(公財)日本下水道新技術機構との共同研究を実施しました。

4 地域・県民との連携による普及啓発	
	地域に親しまれる下水道や下水道の「みえる化」を目指し地元自治会や事業者等と協働した下水道ふれあいまつりの企画・運営を行いました。 また、水の循環について学んでいただくため、夏休み下水道教室において、上下水道を一体とした見学会を開催しました。

5 快適に安心して働ける職場環境	
	安心して働ける職場環境作りのため、ストレスチェック制度を導入しメンタルヘルスケアを実施しました。 また、リフレッシュ休暇について職員に周知するとともに、健康管理の推進とより良い職場環境の実現に努めました。

〔平成28年度実績集計表〕

表中の番号は「第5期経営改善計画 6 具体的施策」で数値目標を定めた項目で、平成28年度の実績集計は次のとおりです。

○経費縮減の数値目標に対する取組み結果

1 効率的で安定した事業の運営							
(1) 効率的な維持管理による処理費の抑制							
項目	年度 目標 実績 達成率	縮減額（単位：千円）					計
		26	27	28	29	30	
① 包括的民間委託の導入	目標	△20,035	△20,035	△20,035	△20,035	△20,035	△100,175
	実績	△20,035	△20,035	△20,035			△60,105
	達成率	100%	100%	100%			60%
② 運転管理に関する点検回数の見直し	目標	△29,100	△29,100	△29,100	△25,100	△25,100	△137,500
	実績	△29,100	△29,100	△27,600			△85,800
	達成率	100%	100%	95%			62%
③ 広場管理人員の削減	目標	△3,499	△3,499	△3,499	△3,499	△3,499	△17,495
	実績	△3,774	△3,789	△3,735			△11,298
	達成率	108%	108%	107%			65%
④ 草花管理業務の見直し	目標	△1,500	△1,500	△1,500	△1,500	△1,500	△7,500
	実績	△1,500	△1,500	△1,500			△4,500
	達成率	100%	100%	100%			60%
⑤ 脱臭用活性炭の一括発注	目標	△9,707	△9,707	△9,707	△9,707	△9,707	△48,535
	実績	△10,520	△11,020	△10,350			△31,890
	達成率	108%	114%	107%			66%
⑥ 水処理等監視制御設備点検委託(相模川流域)の一括発注	目標	△3,600	△3,600	△3,600	△3,600	△3,600	△18,000
	実績	△3,990	△3,870	△3,750			△11,610
	達成率	111%	108%	104%			65%
⑧ 水質分析の一部集約	目標	△348	△348	△348	△348	△348	△1,740
	実績	△348	△348	△348			△1,044
	達成率	100%	100%	100%			60%

項目	縮減額（単位：千円）						
	年度 目標 実績 達成率	26	27	28	29	30	計
⑨ オーバーホールの周期の延伸	目標	△6,070	△9,800	△13,550	△16,300	△20,470	△66,190
	実績	△6,410	△10,770	△13,770			△30,950
	達成率	106%	110%	102%			47%
⑩ 汚水ポンプの効率的な運用	目標	△4,096	△4,096	△3,084	△3,084	△3,084	△17,444
	実績	△3,684	△3,655	△3,852			△11,191
	達成率	90%	89%	125%			64%
⑪ 最初沈殿池における効率的な運用	目標	△57	△57	△57	△57	△57	△285
	実績	△84	△84	△84			△252
	達成率	147%	147%	147%			88%
⑫ 老朽化設備の休止による維持管理費用の削減	目標	△22,000	△8,663	△11,995	△16,924	△8,654	△68,236
	実績	△22,000	△8,663	△11,995			△42,658
	達成率	100%	100%	100%			63%
⑬ 産業医設置の見直し	目標	△720	△720	—	—	—	△1,440
	実績	△720	△360	—	—	—	△1,080
	達成率	100%	50%	—	—	—	75%
⑭ 公用車の軽自動車導入	目標	△70	△120	△120	△120	△120	△550
	実績	△117	△201	△201			△519
	達成率	167%	168%	168%			94%
⑮ 振込方法の改善	目標	△316	△316	△237	△237	△237	△1,343
	実績	△95	△247	△324			△666
	達成率	30%	78%	137%			50%
⑯ 焼却炉の点検に関する積算基準の見直し	目標	—	—	△2,040	△2,922	△2,922	△7,884
	実績	—	—	△1,784			△1,784
	達成率	—	—	87%			23%
⑰ 加除式書籍の追録廃止	目標	—	—	△537	△537	△537	△1,611
	実績	—	—	△537			△537
	達成率	—	—	100%			33%
縮減額計	目標	△101,118	△91,561	△99,409	△103,970	△99,870	△495,928
	実績	△102,377	△93,642	△99,865			△295,884
	達成率	101.2%	102.3%	100.5%			59.7%

○経費縮減以外の数値目標に対する取組み結果

1 効率的で安定した事業の運営						
(2) 施設の老朽化対策						
項目	年度	26	27	28	29	30
⑰ 設備診断や施設評価	目標	10%	30%	50%	75%	100%
	実績	10%	30%	56%		
(3) 安全・安心な下水道						
項目	年度	26	27	28	29	30
⑱ 事業継続計画(BCP)の策定	目標	30%	100%	—	—	—
	実績	30%	100%	—	—	—

3 水環境の向上と地球温暖化対策						
(2) 地球温暖化対策と環境対策						
項目	年度	26	27	28	29	30
⑳ 焼却灰のリサイクル	目標	100%	100%	100%	100%	100%
	実績	100%	100%	100%		

4 地域・県民との連携による普及啓発							
項目	年度	26	27	28	29	30	計
④④ 夏休み下水道教室の拡充	目標	3回	3回	3回	4回	4回	17回
	実績	3回	3回	3回			9回
④⑤ 出張教室の拡充	目標	21回	21回	21回	22回	22回	107回
	実績	21回	21回	21回			63回
④⑥ 市町開催環境イベントへの積極的参加	目標	6回	6回	6回	6回	6回	30回
	実績	10回	12回	10回			32回

Ⅲ 計画の進行管理（PDCA サイクルによる見直し）

1 進行管理

各項目の取組み結果については、PDCA サイクルによる継続的な見直しを行うこととして
います。

計画の実施にあたっては、計画〔Plan〕に基づき実行〔Do〕し、取りまとめた結果につい
て評価〔Check〕し、更なる改善〔Action〕に取組みました。

2 評価〔Check〕及び改善〔Action〕

平成 28 年度の取組み結果に関する評価〔Check〕及び改善〔Action〕は、次のとおりで
す。

(1) 経費縮減に関する取組み

経費縮減に関する取組みについて、平成 28 年度は、15 項目のうち 13 項目で目標を達
成し、経費縮減額の達成率は、目標を上回った項目があり 100.5%となりました。

この取組みの中で、特に未達項目の評価及び改善内容は、次のとおりです。

取組み 項目名	取組み内容	目 標	評 価 (未達理由)	改 善 (改善内容等)
		実 績		
		達成率		
② 運転管理 に関する 点検回数 の見直し	運転管理業務委託 の設備点検につい て、設備の使用状況 (休止設備) に応じ て日々の点検頻度 (回数) を見直し経 費の縮減を図りま す。	△29,100 千円	酒匂管理センターの 水処理は 3 系列のうち 1 系列を休止とする計画 であった。 しかしながら、酒匂川 流域下水道編入事業が 平成 29 年 4 月から平成 28 年 4 月に 1 年前倒し となり、水処理 1 系列の うち半系列を稼働し、点 検回数が増えたことよ る。	—
		△27,600 千円		
		95%		
⑤⑩ 焼却炉の 点検に関 する積算 基準の見 直し	焼却設備は点検基 準に基づき毎年点検 を実施している。そ の中で、分解点検等 を実施しない機器に ついては外観目視点 検等を実施してお り、その点検基準人 数を見直すことで経 費の縮減を図りま す。	△2,040 千円	機器の不具合により、 分解点検等を実施する 機器点数が増加し、外観 目視点検点数等が減少 したことによる。	平成 28 年度は 目標額には達しま せんでしたが、積 算基準の見直しに よる経費縮減は図 れた。 今後とも、機器 の状態を把握し適 切な管理に努め る。
		△1,784 千円		
		87%		

(2) 経費縮減以外の取組み

経費縮減以外には、施設の老朽化対応、危機管理体制の強化、流域市町への技術支援、効率的な組織体制、環境への配慮及び効果的な普及啓発活動など、概ね計画通りに取組むことができました。

3 PDCA サイクルによる見直し結果（平成 28 年度）

次年度についても、各項目の達成に向け取組んでまいります。